

Ⅳ 評価項目について

本学の評価項目は、「大学・学部」と「大学院・研究科、研究所・センター等」に分けて設定している。どちらも大学基準協会の評価項目を網羅したうえで、本学特有の項目を付加した。評価項目は20の大項目から構成され、そのうちの3つは複数の中項目に分かれている。大・中項目は、その項目を評価する際の視点となる小項目に分かれており、その小項目の内容を「要素」として記している。要素は、必ず何らかの記述をしなければならない「必須要素」と、選択的に記述してもよい「選択要素」および本学独自に設定した「KG要素」がある。（下図参照）

＜大学・学部の評価項目の例＞

大項目	中項目	小項目 及び 要素（無印＝必須、○＝選択）	
6 教育内容・方法	6.4 *教育成果のあり方	6.4.1	教育効果の測定
			教育上の効果を測定するための方法の適切性
			教育効果や目標達成度及びそれらの測定方法に対する教員間の合意の確立状況
			教育効果を測定するシステム全体の機能的有効性を検証する仕組みの導入状況
			卒業生の進路状況
			○ 教育効果の測定方法を開発する仕組みの導入状況
			○ 教育効果の測定方法の有効性を検証する仕組みの導入状況
			○ 教育効果の測定結果を基礎に、教育改善を行う仕組みの導入状況
			○ 国際的、国内的に注目されるような人材の輩出状況
		6.4.2	厳格な成績評価の仕組み（成績評価法）
			履修科目登録の上限設定とその運用の適切性
			成績評価法、成績評価基準の適切性
			厳格な成績評価を行う仕組みの導入状況
			各年次及び卒業時の学生の質を検証・確保するための方途の適切性
	○ 学生の学習意欲を刺激する仕組みの導入状況		

＜大学院・研究科等の評価項目の例＞

大項目	中項目	小項目 及び 要素（無印＝必須、○＝選択）	
6 教育内容・方法	6.4 *教育成果のあり方	6.4.1	教育効果の測定
			教育・研究指導の効果を測定するための方法の適切性
			○ 修士課程、博士課程修了者（修業年限満期退学者を含む）の進路状況
			○ 大学教員、研究機関の研究員などへの就任状況と高度専門職への就職状況
		6.4.2	厳格な成績評価の仕組み（成績評価法）
			学生の資質向上の状況を検証する成績評価法の適切性

大項目において、本学特有の項目は「キリスト教主義教育」「人権教育」「ボランティア活動・教育」「国際交流」「危機管理」の5つである。中項目の区分の方法や内容については本学独自に構成しており、大学基準協会の評価項目とは一部異なっている。

評価項目の一覧は序章の末尾に付した。

V 自己点検・評価報告書の作成にあたって

本報告書の執筆・編集は、以下の「記述のルール」に則っている。閲読に際して留意いただければ幸いである。

1. 記述は原則として小項目ごと

記述は原則として小項目ごと（大学基準協会の評価項目ではカッコで記された細目ごと）としたが、内容が細分化するのを防ぐために複数の小項目をひとまとめにして記述している場合もある。

2. 目標に即した評価

今回の「新たな自己点検・評価」においては、従来の自己点検・評価とは異なり、目標を設定し、その目標の達成度を測ることを基本的姿勢とした。目標の設定は、2004年度に、大学第3次中長期計画の初年度である2003年度に遡って、原則として評価項目ごとに行い、大学執行部が全学的な視点から、学部・研究科などが個別的な視点から設定した。

目標の達成期限は大学第3次中長期計画期間の2010年度までとしたため「現状の説明」「点検・評価の結果」は2003年度から8年の期間で設定した目標について、その3年目段階での進捗状況を自己点検・評価するという形式をとっている。

3. 記述内容について

「現状の説明」は、2005年5月1日を基準とし、2003年度、2004年度および2005年4月末までのことを中心に記述した。「点検・評価の結果」は、「現状の説明」に対して担当部局自らが評価できる点や問題点・課題などを、「改善の具体的方策」には、「点検・評価の結果」で浮き彫りになった問題点や課題に対する改善の方策を具体的に記すとともに、2005年5月1日以降に改善が進んだ点などについても追記している。

項目によっては、「現状の説明」「点検・評価の結果」「改善の具体的方策」の記述内容が相互に交錯している場合も少なくないが、3つの内容をどの項目においても必ず言及するよう心がけている。

関西学院大学 評価項目（大学・学部）

評価項目（大学・学部）（大学基準協会+KG独自*）		
大項目	中項目	小項目 及び 要素（無印=必須、○=選択）
0	理念・目的・教育目標	0.0.1 理念・目的等 大学・学部等の理念・目的・教育目標とそれに伴う人材養成等の目的の適切性 大学・学部等の理念・目的・教育目標等の周知の方法とその有効性
		0.0.2 理念・目的等の検証 ○ 大学・学部等の理念・目的・教育目標を検証する仕組みの導入状況 ○ 大学・学部等の理念・目的・教育目標の、社会との関わりの中での見直しの状況
		0.0.3 健全性・モラル等 ○ 大学としての健全性・誠実性、教職員及び学生のモラルなどを確保するための綱領等の策定状況
		1.0.1 キリスト教主義教育 KG1 学内のキリスト教教育の組織・態勢 KG2 学内のキリスト教教育活動 KG3 大学とキリスト教関係諸団体との関係
2	* 人権教育	2.0.1 人権教育の状況 KG1 人権意識の涵養とその現状 KG2 人権教育に関わる課題の把握
		2.0.2 人権問題への対応 ハラスメント防止のための措置の適切性 ○ セクシャル・ハラスメント防止への対応 KG1 アカデミック・ハラスメント防止への対応 KG2 その他ハラスメント防止への対応 KG3 人権侵害の防止とその対応
		3.0.1 ボランティア活動・教育 KG1 ボランティア活動実践への対応 KG2 ボランティア活動に関する課題の把握 KG3 ボランティア教育の現状
		4.0.1 教育研究の組織 学部・学科などの組織の教育組織としての適切性、妥当性
4	教育研究の組織	4.0.2 教育研究の組織の検証 ○ 教育研究組織の妥当性を検証する仕組みの導入状況
		5.0.1 入学者受け入れ方針等 入学者受け入れ方針と大学・学部等の理念・目的・教育目標との関係 入学者受け入れ方針と入学者選抜方法、カリキュラムとの関係 ○ 学部・学科等のカリキュラムと入試科目との関係
5	学生の受け入れ	5.0.2 学生募集方法、入学者選抜方法 大学・学部等の学生募集の方法、入学者選抜方法、殊に複数の入学者選抜方法を採用している場合には、その各々の選抜方法の位置づけ等の適切性
		5.0.3 入学者選抜の仕組み 入学者選抜試験実施体制の適切性 入学者選抜基準の透明性 ○ 入学者選抜とその結果の公正性・妥当性を確保するシステムの導入状況
		5.0.4 入学者選抜方法の検証 各年の入試問題を検証する仕組みの導入状況 ○ 入学者選抜方法の適切性について、学外関係者などから意見聴取を行う仕組みの導入状況
		5.0.5 アドミッションズ・オフィス入試 ○ アドミッションズ・オフィス入試実施の実効性

評価項目 (大学・学部) (大学基準協会+KG独自*)			
大項目	中項目	小項目 及び 要素 (無印=必須、○=選択)	
5	学生の受け入れ	5.0.6 「飛び入学」	
		○ 「飛び入学」制度の運用の適切性	
		5.0.7 入学者選抜における高・大の連携	
		○ 推薦入学における、高等学校との関係の適切性	
		○ 入学者選抜における、高等学校の「調査表」の位置づけ	
		○ 高校生に対して行う進路相談・指導、その他これに関わる情報伝達の適切性	
		5.0.8 社会人学生の受け入れ	
		5.0.9 科目等履修生、聴講生等	
		○ 科目等履修生、聴講生等の受け入れ方針・要件の適切性と明確性	
		5.0.10 外国人留学生の受け入れ	
		○ 留学生の本国地での大学教育、大学前教育の内容・質の認定の上に立った学生受け入れ・単位認定の適切性	
		5.0.11 定員管理	
○ 学生収容定員と在籍学生数、(編)入学定員と入学数との比率の適切性			
○ 定員超過の著しい学部・学科等における定員適正化に向けた努力の状況			
○ 定員充足率の確認の上に立った組織改組、定員変更の可能性を検証する仕組みの導入状況			
○ 恒常的に著しい欠員が生じている学部・学科における、対処方法の適切性			
5.0.12 編入学生、退学者			
○ 退学者の状況と退学理由の把握状況			
○ 編入学生及び転科・転部学生の状況			
6	教育内容・方法	6.1 *カリキュラムの編成	6.1.1 教育課程
			○ カリキュラムの編成方針と教育理念・目的との関係
			○ カリキュラムの体系性と教育理念・目的との関係
			○ カリキュラムにおける基礎教育、倫理性を培う教育の位置づけ
			○ 基礎教育と教養教育の実施・運営のための責任体制の確立とその実践状況
			○ グローバル化時代に対応させた教育、倫理性を培う教育、コミュニケーション能力等のスキルを涵養するための教育を実践している場合における、そうした教育の教養教育上の位置づけ
			○ 起業家的能力を涵養するための教育を実践している場合における、そうした教育の教育課程上の位置づけ
			○ 学生の心身の健康の保持・増進のための教育的配慮の状況
			6.1.2 履修科目の区分
			○ 専門教育的授業科目とその学部・学科等の理念・目的との関係
			○ 一般教養的授業科目の編成における「幅広く深い教養及び総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養」するための配慮の適切性
			○ 外国語科目の編成における学部・学科等の理念・目的の実現への配慮
○ カリキュラム編成における、必修・選択の量的配分の適切性、妥当性			
6.1.3 授業形態と単位の関係			
○ 各授業科目の特徴・内容や履修形態との関係における、その各々の授業科目の単位計算方法の妥当性			
○ 教育課程の開設授業科目、卒業所要総単位に占める専門教育的授業科目・一般教養的授業科目・外国語科目等の量的配分とその適切性、妥当性			

評価項目 (大学・学部) (大学基準協会+KG独自*)				
大項目	中項目	小項目 及び 要素 (無印=必須、○=選択)		
6 教育内容・方法	6.1 *カリキュラムの編成	6.1.4	単位互換/単位認定等 国内外の大学等との単位互換方法の適切性 入学前の既修得単位の単位認定方法の適切性 卒業所要総単位中、自大学・学部・学科等による認定単位数の割合 ○ 海外の大学との交流協定の締結状況とそのカリキュラム上の位置づけ	
		6.1.5	開設授業科目における専・兼比率等 全授業科目中、専任教員が担当する授業科目とその割合 兼任教員等のカリキュラムへの関与の状況	
		6.1.6	カリキュラムと国家試験 ○ 国家試験につながるのあるカリキュラムを持つ学部・学科における、受験率・合格者数・合格率	
		6.1.7	インターンシップ、ボランティア ○ インターンシップを導入している学部・学科等における、そうしたシステムの実施の適切性 ○ ボランティア活動を単位認定している学部・学科等における、そうしたシステムの実施の適切性	
		6.1.8	生涯学習への対応 生涯学習への対応とそのための措置の適切性、妥当性	
		6.1.9	正課外教育 (エクステンション等) ○ 正課外教育の充実度	
		6.2 *教育・研究指導のあり方	6.2.1	カリキュラムにおける高・大接続 学生が後期中等教育から高等教育へ円滑に移行するために必要な導入教育の実施状況
			6.2.2	履修指導 学生に対する履修指導の適切性 オフィスアワーの制度化の状況 留年者に対する教育上の配慮措置の適切性 ○ 学習支援 (アカデミック・ガイダンス) を恒常的に行うアドバイザー制度の導入状況 ○ 科目等履修生、聴講生等に対する教育指導上の配慮の適切性
			6.2.3	社会人学生、外国人留学生等への教育上の配慮 ○ 社会人学生、外国人留学生、帰国生徒に対する教育課程編成上、教育指導の配慮
	6.3 *教育方法のあり方		6.3.1	授業形態と授業方法の関係 授業形態と授業方法の適切性、妥当性とその教育指導上の有効性 マルチメディアを活用した教育の導入状況とその運用の適切性 「遠隔授業」による授業科目を単位認定している大学・学部等における、そうした制度措置の運用の適切性
		6.4 *教育成果のあり方	6.4.1	教育効果の測定 教育上の効果を測定するための方法の適切性 教育効果や目標達成度及びそれらの測定方法に対する教員間の合意の確立状況 教育効果を測定するシステム全体の機能的有効性を検証する仕組みの導入状況 卒業生の進路状況 ○ 教育効果の測定方法を開発する仕組みの導入状況 ○ 教育効果の測定方法の有効性を検証する仕組みの導入状況 ○ 教育効果の測定結果を基礎に、教育改善を行う仕組みの導入状況 ○ 国際的、国内的に注目されるような人材の輩出状況
	6.4.2		厳格な成績評価の仕組み (成績評価法) 履修科目登録の上限設定とその運用の適切性 成績評価法、成績評価基準の適切性 厳格な成績評価を行う仕組みの導入状況 各年次及び卒業時の学生の質を検証・確保するための方法の適切性 ○ 学生の学習意欲を刺激する仕組みの導入状況	

評価項目 (大学・学部) (大学基準協会+KG独自*)			
大項目	中項目	小項目 及び 要素 (無印=必須、○=選択)	
6	教育内容・方法	6.5.1 教育改善への組織的な取り組み <ul style="list-style-type: none"> 学生の学修の活性化と教員の教育指導方法の改善を促進するための措置とその有効性 シラバスの作成と活用状況 学生による授業評価の活用状況 F D活動に対する組織的取り組み状況の適切性 F Dの継続的实施を図る方途の適切性 ○ 学生満足度調査の導入状況 ○ 卒業生に対し、在学時の教育内容・方法を評価させる仕組みの導入状況 ○ 高等教育機関、研究所、企業等の雇用主による卒業生評価の導入状況 ○ 教育評価の成果を教育改善に直結させるシステムの確立状況とその運用の適切性 	
		6.6 課程修了の認定	6.6.2 課程修了の認定 (大学3年卒業の特例) <ul style="list-style-type: none"> ○ 3年卒業制度措置の運用の適切性
	7	* 国際交流	7.0.1 国際交流 (国内外における教育研究交流) <ul style="list-style-type: none"> 国際化への対応と国際交流の推進に関する基本方針の適切性 国際レベルでの教育研究交流を緊密化させるための措置の適切性 ○ 外国人教員の受け入れ体制の整備状況、運用の適切性 ○ 教育研究及びその成果の外部発信の状況とその適切性
7.0.2 国際教育・協力 <ul style="list-style-type: none"> KG1 国際理解のための教育 KG2 国際協力の実践 			
8.1.1 学生への経済的支援 <ul style="list-style-type: none"> 奨学金その他学生への経済的支援を図るための措置の有効性、適切性 ○ 各種奨学金へのアクセスを容易にするような学生への情報提供の状況とその適切性 			
8	* 学生生活への支援	8.1.2 学生の抱える問題への対応・相談 <ul style="list-style-type: none"> 学生の心身の健康保持・増進及び安全・衛生への配慮の適切性 生活相談担当部署の活動上の有効性 ○ 生活相談、進路相談を行う専門のカウンセラーやアドバイザーなどの配置状況 ○ 学内の生活相談機関と地域医療機関等との連携関係の状況 ○ 不登校の学生への対応状況 ○ 学生生活に関する満足度アンケートの実施と活用の状況 KG 障がい学生への支援・対応 	
		8.2.1 課外活動 (スポーツ・文化活動等) <ul style="list-style-type: none"> 学生の課外活動に対して大学として組織的に行っている指導、支援の有効性 ○ 学生の課外活動の国内外における水準状況と学生満足度 ○ 学生代表と定期的に意見交換を行うシステムの確立状況 	
		8.2.2 学生組織	
	* 課外活動	8.3.1 進路選択 (就職指導) <ul style="list-style-type: none"> 学生の進路選択に関わる指導の適切性 就職担当部署の活動上の有効性 ○ 就職指導を行う専門のキャリアアドバイザーの配置状況 ○ 学生への就職ガイダンスの実施状況とその適切性 ○ 就職活動の早期化に対する対応 ○ 就職統計データの整備と活用の状況 ○ 資格取得を目的とする課外授業の開設状況とその有効性 	
		* 進路選択	

評価項目 (大学・学部) (大学基準協会+KG独自*)		
大項目	中項目	小項目 及び 要素 (無印=必須、○=選択)
9	研究活動と研究環境	9.1.1 経常的な研究条件の整備
		個人研究費、研究旅費の額の適切性
		教員個室等の教員研究室の整備状況
		教員の研究時間を確保させる方途の適切性
		研究活動に必要な研修機会確保のための方策の適切性
		共同研究費の制度化の状況とその運用の適切性
		9.1.2 競争的な研究環境創出のための措置
		○ 科学研究費補助金及び研究助成財団などへの研究助成金の申請とその採択の状況
		○ 学内に確立されているデュアルサポートシステム(基般(経常)的研究資金と競争的研究資金で構成される研究費のシステム)の運用の適切性
		○ 流動研究部門、流動的研究施設の設置・運用の状況
		○ いわゆる「大部門化」等、研究組織を弾力化するための措置の適切性
		9.1.3 研究上の成果の公表、発信、受信等
		○ 研究論文・研究成果の公表を支援する措置の適切性
		○ 国内外の大学や研究機関の研究成果を発信・受信する条件の整備状況
9.1.4 倫理面からの研究条件の整備		
○ 倫理面から実験・研究の自制が求められている活動・行為に対する学内の規制システムの適切性		
○ 医療や動物実験のあり方を倫理面から担保することを目的とする学内的な審議機関の開設・運営状況の適切性		
9.2	研究活動	9.2.1 研究活動
		論文等研究成果の発表状況
		○ 国内外の学会での活動状況
		○ 当該学部として特筆すべき研究分野での研究活動状況
		○ 研究助成を得て行われる研究プログラムの展開状況
		9.2.2 研究における国際連携
		○ 国際的な共同研究への参加状況
○ 海外研究拠点の配置状況		
9.2.3 教育研究組織単位間の研究上の連携		
○ 附置研究所とこれを設置する大学・大学院との関係		
○ 大学共同利用機関、学内共同利用施設等とこれが置かれる大学・大学院との関係		
10	社会貢献	10.0.1 社会への貢献
		社会との文化交流等を目的とした教育システムの充実度
		公開講座の開設状況とこれへの市民の参加の状況
		教育研究上の成果の市民への還元状況
		○ ボランティア等を教育システムに取り入れ地域社会への貢献を行っている大学・学部等における取り組みの有効性
		○ 地方自治体等の政策形成への寄与の状況
10.0.2 企業等との連携		
○ 企業と連携して社会人向けの教育プログラムを運用している大学・学部等における、その内容と運用の適切性		
○ 寄附講座の開設状況		
○ 大学と大学以外の社会的組織体との教育研究上の連携策		
○ 企業等との共同研究、受託研究の規模・体制・推進の状況		
○ 特許・技術移転を促進する体制の整備・推進状況		
○ 産学連携に伴う倫理綱領の整備とその実践状況		
11	教員組織	11.0.1 教員組織
		学部・学科等の理念・目的並びに教育課程の種類・性格、学生数との関係における当該学部の教員組織の適切性
		主要な授業科目への専任教員の配置状況
		教員組織における専任、兼任の比率の適切性
		教員組織の年齢構成の適切性
		教育課程編成の目的を具体的に実現するための教員間における連絡調整の状況とその妥当性
		○ 教員組織における社会人の受け入れ状況
○ 教員組織における外国人研究者の受け入れ状況		
○ 教員組織における女性教員の占める割合		

評価項目 (大学・学部) (大学基準協会+KG独自*)		
大項目	中項目	小項目 及び 要素 (無印=必須、○=選択)
11	教員組織	11.0.2 教育研究支援職員 実験・実習を伴う教育、外国語教育、情報処理関連教育等を実施するための人的補助体制の整備状況と人員配置の適切性 教員と教育研究支援職員との間の連携・協力関係の適切性 <input type="radio"/> ティーチング・アシスタントの制度化の状況とその活用の適切性
		11.0.3 教員の募集・任免・昇格に対する基準・手続 教員の募集・任免・昇格に関する基準・手続の内容とその運用の適切性 教員選考基準と手続の明確化 教員選考基準における公募制の導入状況とその運用の適切性 <input type="radio"/> 任期制等を含む、教員の適切な流動化を促進させるための措置の導入状況
		11.0.4 教育研究活動の評価 教員の教育研究活動についての評価方法とその有効性 教員選考基準における教育研究能力・実績への配慮の適切性
12	事務組織	12.0.1 事務組織と教学組織との関係 事務組織と教学組織との間の連携協力関係の確立状況 大学運営における事務組織と教学組織の相対的独自性と有機的一体性を確保させる方途の適切性
		12.0.2 事務組織の役割 教学に関わる企画・立案・補佐機能を担う事務組織体制の適切性 学内の予算(案)編成・折衝過程における事務組織の役割とその適切性 学内の意思決定・伝達システムの中での事務組織の役割とその活動の適切性 国際交流、入試、就職等の専門業務への事務組織の関与の状況 大学運営を経営面から支え得るような事務局機能の確立状況
		12.0.3 事務組織の機能強化のための取り組み <input type="radio"/> 事務組織の専門性の向上と業務の効率化を図るための方途の適切性 <input type="radio"/> 教学上のアドミニストレータ養成への配慮の状況
		12.0.4 事務組織と学校法人理事会との関係 <input type="radio"/> 事務組織と学校法人理事会との関係の適切性
13	施設・設備	13.0.1 施設・設備等の整備 (情報インフラを含む) 大学・学部等の教育研究目的を実現するための施設・設備等諸条件の整備状況の適切性 教育の用に供する情報処理機器などの整備状況 <input type="radio"/> 社会へ開放される施設・設備の整備状況 <input type="radio"/> 記念施設・保存建物の保存・活用の状況 KG1 校地・校舎面積の状況 KG2 資産・備品の管理状況 KG3 教室の整備・運用状況 KG4 視聴覚機器の整備・運用状況 KG5 情報処理機器等の整備・運用状況 KG6 研究室の整備状況 (個人研究室、共同研究室等) KG7 研究所の整備・運用状況 KG8 課外活動施設の整備・運用状況 KG9 厚生施設の整備・運用状況 KG10 体育施設の整備・運用状況 KG11 学外施設の整備・運用状況 (千刈、立山、戸隠等) KG12 ネットワークシステムの整備状況
		13.0.6 キャンパス・アメニティ等 キャンパス・アメニティの形成・支援のための体制の確立状況 「学生のための生活の場」の整備状況 大学周辺「環境」への配慮の状況

評価項目 (大学・学部) (大学基準協会+KG独自*)		
大項目	中項目	小項目 及び 要素 (無印=必須、○=選択)
13	施設・設備	13.0.7 利用上の配慮 施設・設備面における障害者への配慮の状況 ○ 各施設の利用時間に対する配慮の状況 ○ キャンパス間の移動を円滑にするための交通動線・交通手段の整備状況
		13.0.8 組織・管理体制 施設・設備等を維持・管理するための責任体制の確立状況 施設・設備の衛生・安全を確保するためのシステムの整備状況
		14.0.1 図書・図書館の整備 図書、学術雑誌、視聴覚資料、その他教育研究上必要の体系的整備とその量的整備の適切性 図書館施設の規模、機器・備品の整備状況とその適切性、有効性 学生閲覧室の座席数、開館時間、図書館ネットワークの整備等、図書館利用者に対する利用上の配慮の状況とその有効性、適切性 図書館の地域への開放の状況 KG1 図書館(室)の整備状況 KG2 図書・資料の整備状況 KG3 図書・資料のサービス体制状況 KG4 図書・資料の利用状況
14	図書館および図書・電子媒体等	14.0.2 学術情報へのアクセス 学術情報の処理・提供システムの整備状況、国内外の他大学との協力の状況 KG1 学術情報収集システム状況 KG2 学術情報機器等の整備開発と管理運用状況
		15.0.1 教授会 教授会の権限、殊に教育課程や教員人事等において教授会が果たしている役割とその活動の適切性 学部教授会と学部長との間の連携協力関係及び機能分担の適切性 学部教授会と評議会、大学協議会などの全学的審議機関との間の連携及び役割分担の適切性
		15.0.2 学長、学部長の権限と選任手続 学長、学部長の選任手続の適切性、妥当性 学長権限の内容とその行使の適切性 学長と評議会、大学協議会などの全学的審議機関の間の連携協力関係及び機能分担、権限委譲の適切性 学部長権限の内容とその行使の適切性 ○ 学長補佐体制の構成と活動の適切性 ○ 個性ある学長の募集・選任を可能ならしめるような学内的条件の整備状況
15	管理運営	15.0.3 意思決定 大学の意思決定プロセスの確立状況とその運用の適切性
		15.0.4 大学評議会(全学的審議機関) 評議会、大学協議会などの全学的審議機関の権限の内容とその行使の適切性
		15.0.5 教学組織と学校法人理事会との関係 教学組織と学校法人理事会との間の連絡協力関係及び機能分担、権限委譲の適切性
		15.0.6 管理運営への学外有識者の関与 ○ 公・私立大学の管理運営に対する学外有識者の関与の状況
		16.0.1 教育研究と財政(中・長期財政計画) 教育研究目的・目標を具体的に実現する上で必要な財政基盤(もしくは配分予算)の充実度 中・長期的な財政計画と総合将来計画(もしくは中・長期の教育研究計画)との関連性、適切性 ○ 教育研究の十全な遂行と財政確保の両立を図るための仕組みの導入状況
16	財務	

評価項目 (大学・学部) (大学基準協会+KG独自*)				
大項目	中項目	小項目 及び 要素 (無印=必須、○=選択)		
16	財務	16.0.2 外部資金等 文部科学省科学研究費、外部資金(寄附金、受託研究費、共同研究費など)の受け入れ状況と件数・額の適切性		
		16.0.3 予算編成 ○ 予算編成過程における執行機関と審議機関の役割の明確化		
		16.0.4 予算の配分と執行 ○ 予算配分と執行のプロセスの明確性、透明性、適切性 ○ 予算執行に伴う効果を分析・検証する仕組みの導入状況		
		16.0.5 財務監査 アカウントビリティの履行状況を検証するシステムの導入状況 監査システムのその運用の適切性		
		16.0.6 私立大学財政の財務比率 消費収支計算書関係比率及び貸借対照表関係比率における、各項目の比率の適切性		
		17	* 危機管理	17.0.1 災害に関する危機管理 KG1 建物の耐震性等の点検 KG2 代替施設・設備の整備 KG3 通信機器の確保 KG4 最小限生活品の確保 KG5 災害対策本部規程・災害時マニュアルの整備 KG6 避難経路の確認 KG7 連絡網の整備
				17.0.2 災害以外の危機管理
17.0.3 危機管理における広報体制				
18	自己点検・評価			18.0.1 自己点検・評価 自己点検・評価を恒常的に行うための制度システムの内容とその活動上の有効性 ○ 自己点検・評価プロセスに、学生・卒業生や雇用主などを含む学外者の意見を反映させるしくみの導入状況
				18.0.2 自己点検・評価と改善・改革システムの連結 自己点検・評価の結果を基礎に、将来の発展に向けた改善・改革を行うための制度システムの内容とその活動上の有効性
				18.0.3 自己点検・評価に対する学外者による検証 自己点検・評価結果の客観性・妥当性を確保するための措置の適切性 ○ 外部評価を行う際の外部評価者の選任手続の適切性 ○ 外部評価者による外部評価の適切性 ○ 外部評価と自己点検・評価との関係
				18.0.4 大学に対する社会的評価等 ○ 大学・学部の社会的評価の検証状況 ○ 他大学にはない特色や「活力」の検証状況
		18.0.5 大学に対する指摘事項および勧告などに対する対応 文部科学省からの指摘事項および大学基準協会からの勧告などに対する対応		
19	情報公開・説明責任	19.0.1 財政公開 財政公開の状況とその内容・方法の適切性		
		19.0.2 自己点検・評価 自己点検・評価結果の学内外への発信状況とその適切性 外部評価結果の学内外への発信状況とその適切性 KG1 組織・運営と諸活動の状況についての情報公開の適切性 KG2 社会に対する説明責任の履行状況 KG3 情報公開に関する規程と組織の整備状況		

関西学院大学 評価項目（大学院・研究科、研究所・センター）

評価項目（大学院・研究科、研究所・センター）（大学基準協会+KG独自*）		
大項目	中項目	小項目 及び 要素（無印=必須、○=選択）
0	理念・目的・教育目標	0.0.1 理念・目的等 大学院研究科の理念・目的・教育目標とそれに伴う人材養成等の目的の適切性 大学院研究科の理念・目的・教育目標とその達成状況
		5.0.1 入学者受け入れ方針等（門戸開放） 他大学・大学院の学生に対する「門戸開放」の状況
5	学生の受け入れ	5.0.2 学生募集方法、入学者選抜方法 大学・学部等の学生募集の方法、入学者選抜方法、殊に複数の入学者選抜方法を採用している場合には、その各々の選抜方法の位置づけ等の適切性
		5.0.3 入学者選抜の仕組み（学内推薦制度） 成績優秀者等に対する学内推薦制度を採用している大学院研究科における、そうした措置の適切性
		5.0.4 入学者選抜方法の検証 各年の入試問題を検証する仕組みの導入状況 ○ 入学者選抜方法の適切性について、学外関係者などから意見聴取を行う仕組みの導入状況
		5.0.6 「飛び入学」 「飛び入学」制度の運用の適切性
		5.0.8 社会人学生の受け入れ
		5.0.9 科目等履修生、聴講生等 ○ 科目等履修生、聴講生等の受け入れ方針・要件の適切性と明確性
		5.0.10 外国人留学生の受け入れ ○ 留学生の本国地での大学教育、大学前教育の内容・質の認定の上立った学生受け入れ・単位認定の適切性
		5.0.11 定員管理 収容定員に対する在籍学生数の比率および学生確保のための措置の適切性
		6.1.1 教育課程 カリキュラムの編成方針と教育理念・目的との関係 カリキュラムの体系性と教育理念・目的との関係 学部基礎を置く大学院研究科における教育内容と、当該学部の学士課程における教育内容の適切性及び両者の関係 修士課程における教育内容と、博士（後期）課程における教育内容の適切性及び両者の関係 博士課程（一貫制）の教育課程における教育内容の適切性 課程制博士課程における、入学から学位授与までの教育システム・プロセスの適切性 ○ 創造的な教育プロジェクトの推進状況
		6.1.4 単位互換／単位認定等 国内外の大学等との単位互換方法の適切性
		6.1.8 生涯学習への対応 ○ 社会人再教育を含む生涯学習の推進に対応させた教育研究の実施状況
6	教育内容・方法	6.1.10 専門職大学院のカリキュラム カリキュラム全体においてケース・スタディ、ディベート、フィールドワーク等の授業科目が占める割合 高度専門職業人としての活動を倫理面から支えることを目的とした授業科目の開設状況 高度専門職業人養成機関に相応しい教育内容・方法の水準を維持させる学内的方途の適切性 高度専門職業人養成機関に相応しい修了認定 ○ 学外での経験・活動等を単位認定する際の認定単位の適切性
		6.1 *カリキュラムの編成

評価項目 (大学院・研究科、研究所・センター) (大学基準協会+KG独自*)					
大項目	中項目	小項目 及び 要素 (無印=必須、○=選択)			
6	教育内容・方法	6.1	*カリキュラムの編成	6.1.11	独立大学院の教育課程
				○	学部基礎を置かない独立大学院、独立研究科における、下位の学位課程の教育内容・レベルを視野に入れた当該課程の教育内容の適切性
		6.1.12	「連携大学院」の教育課程	○	研究所等と連携して大学院課程を展開する「連携大学院」における、教育内容の体系的・一貫性を確保するための方途の適切性
				6.2.3	社会人学生、外国人留学生等への教育上の配慮
		6.2	*教育・研究指導のあり方	社会人、外国人留学生に対する教育課程編成、教育研究指導への配慮	
				6.2.4	研究指導等 (学生の研究活動への支援を含む)
				○	教育課程の展開並びに学位論文の作成等を通じた教育・研究指導の適切性
				○	学生に対する履修指導の適切性
				○	指導教員による個別的な研究指導の充実度
				○	複数指導制を採っている場合における教育研究指導責任の明確化
				○	教員間、学生間及びその双方の間の学問的刺激を誘発させるための措置の適切性
				○	研究分野や指導教員にかかる学生からの変更希望への対処方策
				○	才能豊かな人材を発掘し、その才能に適した研究機関等に送り込むなどを可能ならしめるような研究指導体制の整備状況
				○	学生に対し、研究プロジェクトへの参加を促すための配慮の適切性
		○	学生に対し、各種論文集及びその他の公的刊行物への執筆を促すための方途の適切性		
		6.2.5	「連携大学院」における研究指導等	○	「連携大学院」における体系的な研究指導等を確保するための方途の適切性
				6.3.1	授業形態と授業方法の関係
		6.3	*教育方法のあり方	授業形態と授業方法の適切性、妥当性とその教育指導上の有効性	
				マルチメディアを活用した教育の導入状況とその運用の適切性	
				「遠隔授業」による授業科目を単位認定している大学・学部等における、そうした制度措置の運用の適切性	
		6.4	*教育成果のあり方	6.4.1	教育効果の測定
				○	教育・研究指導の効果を測定するための方法の適切性
				○	修士課程、博士課程修了者 (修業年限満期退学者を含む) の進路状況
○	大学教員、研究機関の研究員などへの就任状況と高度専門職への就職状況				
6.4.2	厳格な成績評価の仕組み (成績評価法)	学生の資質向上の状況を検証する成績評価法の適切性			
6.5	*教育の質の向上	6.5.1	教育改善への組織的な取り組み (教育・研究指導の改善)		
		教員の教育・研究指導方法の改善を促進するための組織的な取り組み状況			
		シラバスの作成と活用状況			
		学生による授業評価の活用状況			
		○	学生満足度調査の導入状況		
		○	卒業生に対し、在学時の教育内容・方法を評価させる仕組みの導入状況		
○	高等教育機関、研究所、企業等の雇用主による卒業生評価の導入状況				

評価項目 (大学院・研究科、研究所・センター) (大学基準協会+KG独自*)			
大項目	中項目	小項目 及び 要素 (無印=必須、○=選択)	
6	教育内容・方法	6.6 学位授与・課程修了の認定	6.6.1 学位授与
			修士・博士の各々の学位の授与状況と学位の授与方針・基準の適切性
			学位審査の透明性・客観性を高める措置の導入状況とその適切性
			○ 修士論文に代替できる課題研究に対する学位認定の水準の適切性
			○ 学位論文審査における当該大学(院)関係者以外の研究者の関与の状況
			○ 留学生に学位を授与するにあたり、日本語指導等講じられている配慮措置の適切性
6.6.2 課程修了の認定			
			標準修業年限未滿で修了することを認めている大学院における、そうした措置の適切性、妥当性
7	* 国際交流		7.0.1 国際交流 (国内外における教育研究交流)
			国際化への対応と国際交流の推進に関する基本方針の適切性
			国際レベルでの教育研究交流を緊密化させるための措置の適切性
			○ 国内外の大学院間の組織的な教育研究交流の状況
			○ 外国人教員の受け入れ体制の整備状況、運用の適切性
			○ 教育研究及びその成果の外部発信の状況とその適切性
○ 国際的な教育研究交流、学術交流のために必要なコミュニケーション手段修得のための配慮の適切性			
7.0.2 国際教育・協力			
			KG1 国際理解のための教育 KG2 国際協力の実践
8	学生生活	8.1 * 学生生活への支援	8.1.1 学生への経済的支援
			奨学金その他学生への経済的支援を図るための措置の有効性、適切性
			○ 各種奨学金へのアクセスを容易にするような学生への情報提供の状況とその適切性
			8.1.2 学生の抱える問題への対応・相談
		学生の心身の健康保持・増進及び安全・衛生への配慮の適切性	
KG 障がい学生への支援・対応			
8.3 * 進路選択	8.3.1 進路選択 (就職指導)	学生が進路選択に関わる指導の適切性	
9	研究活動と研究環境	9.1 研究環境	9.1.1 経常的な研究条件の整備
			個人研究費、研究旅費の額の適切性
			教員個室等の教員研究室の整備状況
			教員の研究時間を確保させる方途の適切性
			研究活動に必要な研修機会確保のための方策の適切性
			共同研究費の制度化の状況とその運用の適切性
			9.1.2 競争的な研究環境創出のための措置
○ 科学研究費補助金及び研究助成財団などへの研究助成金の申請とその採択の状況			
○ 学内に確立されているデュアルサポートシステム (基般(経常)的研究資金と競争的研究資金で構成される研究費のシステム)の運用の適切性			
○ 流動研究部門、流動的研究施設の設置・運用の状況			
○ いわゆる「大部門化」等、研究組織を弾力化するための措置の適切性			

評価項目 (大学院・研究科、研究所・センター) (大学基準協会+KG独自*)			
大項目	中項目	小項目 及び 要素 (無印=必須、○=選択)	
9	研究活動と研究環境	9.1.3 研究上の成果の公表、発信、受信等 ○ 研究論文・研究成果の公表を支援する措置の適切性 ○ 国内外の大学や研究機関の研究成果を発信・受信する条件の整備状況	
		9.1.4 倫理面からの研究条件の整備 ○ 倫理面から実験・研究の自制が求められている活動・行為に対する学内の規制システムの適切性 ○ 医療や動物実験のあり方を倫理面から担保することを目的とする学内的な審議機関の開設・運営状況の適切性	
		9.2 研究活動	9.2.1 研究活動 論文等研究成果の発表状況 ○ 国内外の学会での活動状況 ○ 当該大学院・研究科として特筆すべき研究分野での研究活動状況 ○ 研究助成を得て行われる研究プログラムの展開状況
			9.2.2 研究における国際連携 ○ 国際的な共同研究への参加状況 ○ 海外研究拠点の配置状況
	9.2.3 教育研究組織単位間の研究上の連携 附置研究所とこれを設置する大学・大学院との関係 ○ 大学共同利用機関、学内共同利用施設等とこれが置かれる大学・大学院との関係		
	10	社会貢献	10.0.1 社会への貢献 研究成果の社会への還元 ○ 地方自治体等の政策形成への寄与の状況
			10.0.2 企業等との連携 ○ 寄附講座、寄附研究部門の開設状況 ○ 大学院・大学とそれ以外の社会的組織体・研究機関との教育研究上の連携策 ○ 企業等との共同研究、受託研究の規模・体制・推進の状況 ○ 奨学寄付金の受け入れ状況
			10.0.3 特許・技術移転 ○ 特許の取得状況 ○ 工業所有権の取得状況 ○ 特許料収入の研究費の還元状況の適切性 ○ 特許取得を「研究業績」として認定する学内的措置の適切性 ○ TLO・リエゾンオフィス等の整備状況 ○ 技術移転等を支援する体制の整備状況
	10.0.4 産学連携と倫理規定等 ○ 「産学連携に伴う利害関係の衝突」に備えた産学連携に係るルールの特化の状況 ○ 発明取り扱い規程、著作権規程等、知的資産に関わる権利規程の特化の状況		
	11	教員組織	11.0.1 教員組織 大学院研究科の理念・目的並びに教育課程の種類・性格、学生数との関係における当該大学院研究科の教員組織の適切性 ○ 任期制等を含む、教員の適切な流動化を促進させるための措置の導入状況
11.0.2 教育研究支援職員 研究支援職員の充実度 「研究者」と研究支援職員との間の連携・協力関係の適切性 ○ 高度な技術を持つ研究支援職員を育成し、その技術を継承していくための方途の導入状況 ○ ティーチング・アシスタント、リサーチ・アシスタントの制度化の状況とその活用の適切性			

評価項目（大学院・研究科、研究所・センター）（大学基準協会＋KG独自＊）		
大項目	中項目	小項目 及び 要素（無印＝必須、○＝選択）
11	教員組織	11.0.3 教員の募集・任免・昇格に対する基準・手続 教員の募集・任免・昇格に関する基準・手続の内容とその運用の適切性
		11.0.4 教育研究活動の評価 教員の教育活動及び研究活動の評価の実施状況とその有効性 ○ 教員の研究活動の活性度合いを評価する方法の確立状況 ○ 教員の自己申告に基づく教育と研究に対する評価方法の導入状況
		11.0.5 大学院と他の教育研究組織・機関との関係 学内外の大学院と学部、研究所等の教育研究組織間の人的交流の状況とその適切性
12	事務組織	12.0.2 事務組織の役割 教学に関わる企画・立案・補佐機能を担う事務組織体制の適切性 学内の予算（案）編成・折衝過程における事務組織の役割とその適切性 大学運営を経営面から支え得るような事務局機能の確立状況 ○ 大学院の教育研究を支える独立の事務局体制の整備状況
13	施設・設備	13.0.1 施設・設備等の整備 大学院研究科の教育研究目的を実現するための施設・設備等諸条件の整備状況の適切性 大学院専用の施設・設備の整備状況 ○ 大学院学生用実習室等の整備状況
		13.0.2 先端的な設備・装置 ○ 先端的な教育研究や基礎的研究への装備面の整備の適切性 先端的研究の用に供する機械・設備の整備・利用の際の、他の大学院、大学共同利用機関、附置研究所等との連携関係の適切性 ○
		13.0.3 独立研究科の施設・設備等 ○ 独立研究科における当該研究科専用の施設等の整備の適切性
		13.0.4 夜間大学院などの施設・設備等 ○ 夜間に教育研究指導を行う大学院における施設・設備の利用やサービス提供についての配慮の適切性
		13.0.5 本校以外に拠点を持つ大学院の施設・設備等 ○ 本校以外の場所にも拠点を置き、教育研究指導を行う大学院における施設・設備の整備の適切性
		13.0.8 組織・管理体制 施設・設備等を維持・管理するための責任体制の確立状況 実験等に伴う危険防止のための安全管理・衛生管理と環境被害防止の徹底化を図る体制の確立状況
14	図書館および図書・電子媒体等	14.0.2 学術情報へのアクセス（情報インフラ） 学術資料の記録・保管のための配慮の適切性 国内外の他の大学院・大学との図書等の学術情報・資料の相互利用のための条件整備とその利用関係の適切性 コンテンツ（文書、画像、データベース等のネットワークを流通する情報資源）やアプリケーション・ソフト（個々の応用目的をもったコンピュータソフトウェア）の大学・大学院間の効率的な相互利用を図るための各種データベースのナビゲーション機能の充実度 ○ 資料の保存スペースの狭隘化に伴う集中文献管理センター（例えば、保存図書館など）の整備状況や電子化の状況 ○
15	管理運営	15.0.1 大学院の管理運営体制 大学院研究科の教学上の管理運営組織の活動の適切性 大学院の審議機関（大学院研究科委員会など）と学部教授会との間の相互関係の適切性 大学院の審議機関（大学院研究科委員会など）の長の選任手続の適切性

評価項目（大学院・研究科、研究所・センター）（大学基準協会+KG独自*）		
大項目	中項目	小項目 及び 要素（無印=必須、○=選択）
18	自己点検・評価	18.0.1 自己点検・評価
		自己点検・評価を恒常的に行うための制度システムの内容とその活動上の有効性
		自己点検・評価の結果を基礎に、将来の発展に向けた改善・改革を行うための制度システムの内容とその活動上の有効性
		18.0.3 自己点検・評価に対する学外者による検証
19	情報公開・説明責任	自己点検・評価結果の客観性・妥当性を確保するための措置の適切性
		○ 学外の専門的研究者等による評価の適切性
		19.0.2 自己点検・評価
		自己点検・評価結果の学内外への発信状況とその適切性
		外部評価結果の学内外への発信状況とその適切性
KG1 組織・運営と諸活動の状況についての情報公開の適切性		
KG2 社会に対する説明責任の履行状況		
KG3 情報公開に関する規程と組織の整備状況		